

パールバキュームポンプ・クリーナー

APPQ (ポンプ／クローズ缶用)

シリーズ

APPQO (ポンプ／オープン缶用)

シリーズ

AVC-55、AVC-550SUS (クリーナー／オープン缶用)

シリーズ

APPQO 400、APPQO 550 (クリーナー／オープン缶用)

シリーズ

APPQO-H (クリーナー／オープン缶用)

シリーズ

取扱説明書

- この取扱説明書には、正しく安全に御使用いただくための注意事項が記載されています。御使用になる前に必ず本書をお読みになり、使用方法を理解して下さい。
(誤った使用方法是事故等の原因となります。)
- 取扱説明書は大切に保管し、何時でも見られるようにしておいて下さい。

ハンドポンプのことなら…

AQUA
SYSTEM CO.,LTD.

アグアシステム株式会社

1. はじめに

この度は、パールバキュームポンプ・クリーナーをご購入いただきましてありがとうございます。当商品は、圧縮空気を利用したパール缶用ポンプです。今まで何かと不便だった液体回収作業を当商品で安全・快適に行ってください。まずは、ご使用にあたっては、当取扱説明書をご覧ください。しっかりとご認識の上ご活用ください。

アクアシステム株式会社

2. 仕様一覧表

型 式	本体材質	パッキン材質	ホース材質	使用可能液体
APPQ	ア ル ミ	フッ素	PVC	一般油・水
APPQG			耐油性PVC	灯油・軽油
APPQAS		フッ素+EPT	内面PP三層	溶剤・薬品
APPQO		NBR	PVC	一般油・水
APPQOG			耐油性PVC	灯油・軽油
APPQOAS		フッ素	内面PP三層	溶剤・薬品
APPQO400		NBR	PVC	一般油・水
APPQO400G			耐油性PVC	灯油・軽油
APPQO400AS		フッ素	内面PP三層	溶剤・薬品
APPQO550		NBR	PVC	一般油・水
APPQO-H		NBR	PVC	一般油・水
APPQO-HG			耐油性PVC	灯油・軽油
APPQO-HAS		フッ素	内面PP三層	溶剤・薬品
AVC-55	スチール	NBR	PVC	水・洗剤
AVC-550SUS	ステンレス	NBR	PVC	水・洗剤

(注意) AS仕様 (溶剤用) は、ポンプ材質表を考慮して選択して下さい。

3. 安全上の注意



警告

- ・本ポンプはペール缶（一斗缶）用に設計されています。それ以外の缶や用途には使用しないで下さい。
- ・全機種ともに本体の材質上、腐食のおそれのある酸やアルカリ類にはご使用できません。
- ・爆発の危険性のある液体・場所では、必ず本体及びノズルに、アースを取り付けて下さい。爆発・引火・火災の恐れがあります。使用時は**火気厳禁！**
- ・各部は安全を考え最適な状態に調整してあります。お客様での再調整は絶対に行わないで下さい。



危険

- ・使用するペール缶は傷みの少ないもので縁・口金に変形のない肉厚のものをご用意下さい。作動しない場合や、缶が変形する場合があります。
- ・コンプレッサーはAPPQ／APPQO／APPTの場合1馬力以上、APPQO300／APPQO400／APPQO-Hの場合3馬力以上、APPQO500／APPQO550の場合5馬力以上をご使用下さい。使用圧力は0.4～0.6MPaが適当です。圧力が高いと真空度が上がり、缶が変形して大変危険です。
- ・吸込み対象物の温度は、60℃以下でご使用下さい。それ以上の温度の液体を吸引するとホースや内部パッキン等が変形する可能性があります。
- ・液体を換えるときは、必ず前の液体を完全に抜いて、洗浄してから新しい液体で使用して下さい。液体が混ざると化学変化を起こす可能性があります。大変危険です。
- ・作動しなくなったり異常がある場合は、事故防止のため直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に点検・修理をご依頼下さい。そのまま使用されますと事故やケガの原因となる恐れがあります。



注意

- ・ポンプを缶に取り付けた後外れないか確認して下さい。
- ・エアを注入するとエア排気口からエアが吐出されます。排気口の向きには十分注意して下さい。
- ・満タンになる直前は、液体が吐出エアに混じって吹き出る場合があります。
- ・ヘドロや金属粉など混入している流体を取り扱う場合、混入異物の大きさはホース及び本体を通過可能な大きさは、5mmが限度です。
- ・エアホースは、3/8以上の太いホースをご使用ください。ホースが細いと圧力が落ちて機能が低下します。
- ・エアカップリングプラグ内にストレーナーが入っています。ストレーナーにゴミ等が詰まると機能が低下しますので時々石鹸水等で洗浄して下さい。ストレーナーは変形防止のためプラグから抜き取らないでそのまま洗浄して下さい。
- ・APPQASポンプは、出荷時にOリング（フッ素ゴム）が入っています。予備にEPT（エチレンプロピレンゴム）のOリングを入れてあります。フッ素ゴムを腐食する液体で使用される場合は予備のOリングに交換して下さい。フッ素ゴム・EPTともに腐食する場合は、特注品Oリング（パーフロムゴム）対応となります。付属の液体一覧表を参照して下さい。

★本取扱説明書で示す重要な安全指示項目は、起こりうる全ての状態を表しているものではありません。ポンプの安全性には十分気を配っておりますが、操作される方や保守を行う方も、安全には十分な注意・配慮をお願いします。

4. 使用方法

APPQ 使用方法

APPQシリーズ（クローズ缶吸入用）

使用条件（出荷時）

ペール缶・一斗缶：口金口径40mmのクローズ缶

エア調整ねじ：青色（1mm穴）

圧力調整バルブ：全閉

入力エア圧力：0.4～0.6MPa

使用方法

- ①止めナットを緩め缶の口金に本体を差し込みます。
- ②止めナットをねじ込みポンプを固定します。
- ③エアバルブを閉じた状態で、エアホースを接続します。
- ④エアバルブを開くとホース先端ノズルから液体を吸引します。
- ⑤缶が満タン（ペール缶の場合約 18L・一斗缶の場合約 16L）になれば自動的に吸引が止まります。
- ⑥液体を吸入し終わったらエアバルブを閉めて下さい。
- ⑦エアホースを取り外して下さい。
- ⑧止めナットを緩め本体を缶から取り外して下さい。
- ⑨缶に専用の蓋をして下さい。

※入力エア圧力が 0.4MPa以下の場合

エア調整ねじ：赤色（4mm穴、付属品）に交換

圧力調整バルブ：全開より徐々に閉じながら調整し使用して下さい

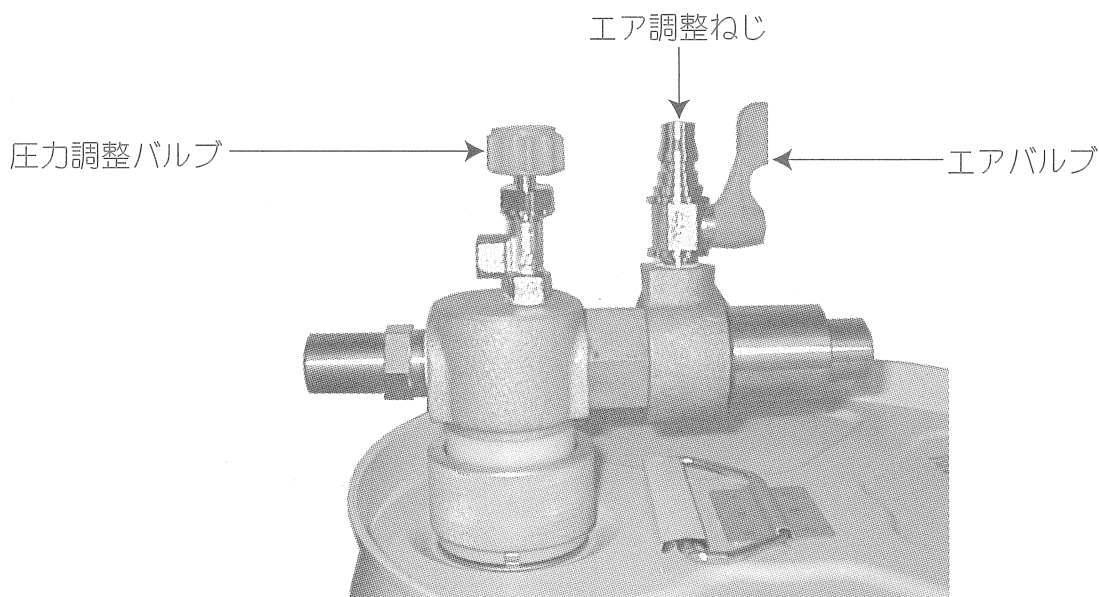
※入力エア圧力が 0.6MPa以上の場合

エア調整ねじ：青色（1mm穴）

圧力調整バルブ：全開より徐々に閉じながら調整し使用して下さい

【注意】

圧力調整バルブを使用する際は、缶が潰れる可能性がありますので十分注意して下さい。



APPQO 使用方法

APPQOシリーズ（オープン缶吸入用）

使用条件（出荷時）

ペール缶	：オープン缶
エア調整ねじ	：赤色（4 mm穴）
圧力調整バルブ	：全開
入力エア圧力	：0.4～0.6MPa

使用方法

- ①ペール缶の上に本体を載せ、本体裏のゴムパッキンの溝にペール缶の縁がピッタリ入るようにセットします。
- ②エアバルブを閉じた状態で、エアホースを接続します。
- ③エアバルブを開くとホース先端ノズルから液体を吸入できます。
- ④液体を吸入して下さい。缶が満タン（約 18L）になれば自動的に吸入は止まります。
- ⑤液体を吸入し終わったらエアバルブを閉めて下さい。
- ⑥エアホースを取り外して下さい。
- ⑦本体をペール缶から取り外して下さい。

※入力エア圧力が 0.4MPa以下の場合

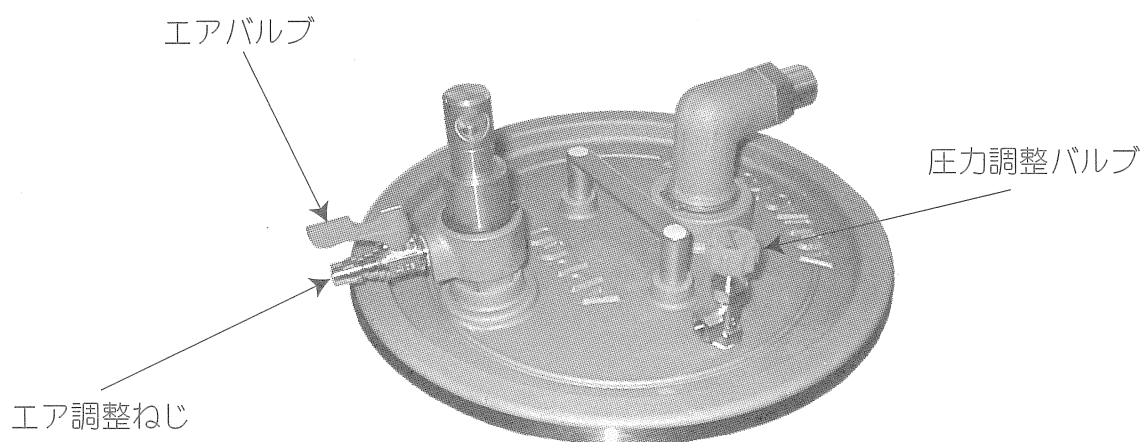
エア調整ねじ	：赤色（4 mm穴）
圧力調整バルブ	：全開より徐々に閉じながら調整し使用して下さい

※入力エア圧力が 0.6MPa以上の場合

エア調整ねじ	：青色（1 mm穴、付属品）に交換
圧力調整バルブ	：全開より徐々に閉じながら調整し使用して下さい

【注意】

圧力調整バルブを使用する際は、缶が潰れる可能性がありますので十分注意して下さい。



AVC-55 ・ AVC-550SUS 使用方法

AVC-55 ・ AVC-550SUSシリーズ

使用条件（出荷時）

ペール缶 ： オープン缶（AVC-550SUSの場合：SUS専用缶）
入力エア圧力 ： 0.4～0.6MPa

使用方法

- ① ペール缶の上に本体を載せ、本体裏のゴムパッキンの溝にペール缶の縁がピッタリ入るようにセットします。
- ② エアバルブを閉じた状態で、エアホースを接続します。
- ③ エアバルブを開くとホース先端ノズルから液体または粉体を吸入できます。
- ④ 液体を吸入する場合缶が満タン（約17L）になれば自動的に吸入は止まります。
- ⑤ 液体または粉体を吸入し終わったらエアバルブを閉めて下さい。
- ⑥ エアホースを取り外して下さい。
- ⑦ 本体をペール缶から取り外して下さい。

【注意】

（粉体を吸入する場合）

必ずオプション（APPQO550には標準で付属しています。）のフィルターを取り付けて使用して下さい。フィルターを取り付けない場合は、吸引した粉体がエア排気口から噴出する場合があります。

（入力エア圧力）

0.4MPa以下の場合、吸引力が弱く吸い込まない場合があります。

0.6MPa以上の場合、ペール缶が潰れる場合があります危険です。必ず0.6MPa以下でご使用下さい。

APPQ0400・APPQ0550 使用方法

APPQ0400・APPQ0550 シリーズ

使用条件（出荷時）

ペール缶 ： オープン缶
入力エア圧力 ： 0.4～0.6MPa

使用方法

- ①オイルストッパーを組立て本体にはめ込みます。
（オイルストッパーがはめ込みにくい場合は、Oリングに水や油を塗り滑りやすくして下さい。）
- ②ペール缶の上に本体を載せ、本体裏のゴムパッキンの溝にペール缶の縁がピッタリ入るようにセットします。
- ③エアバルブを閉じた状態で、エアホースを接続します。
- ④エアバルブを開くとホース先端ノズルから液体または粉体を吸入できます。
- ⑤液体を吸入する場合缶が満タン（約17L）になれば自動的に吸入は止まります。
- ⑥液体または粉体を吸入し終わったらエアバルブを閉めて下さい。
- ⑦エアホースを取り外して下さい。
- ⑧本体をペール缶から取り外して下さい。

【注意】

（粉体を吸入する場合）

必ずオプション（APPQ0550には標準で付属しています。）のフィルターを取り付けて使用して下さい。フィルターを取り付けない場合は、吸引した粉体がエア排気口から噴出する場合があります。

（入力エア圧力）

0.4MPa以下の場合は、吸引力が弱く吸い込まない場合があります。

0.6MPa以上の場合は、ペール缶が潰れる場合があります危険です。必ず0.6MPa以下でご使用下さい。

APPQO-H 使用方法

APPQO-H シリーズ

使用条件（出荷時）

ペール缶 : SUS 専用缶
入力エア圧力 : 0.4~0.6MPa

使用方法

- ①ペール缶の上に本体を載せ、本体裏のゴムパッキンの溝にペール缶の縁がピッタリ入るようにセットします。
- ②エアバルブを閉じた状態で、エアホースを接続します。
- ③エアバルブを開くとホース先端ノズルから液体または粉体を吸入できます。
- ④液体を吸入する場合缶が満タン（約 17L）になれば自動的に吸入は止まります。
- ⑤液体または粉体を吸入し終わったらエアバルブを閉めて下さい。
- ⑥エアホースを取り外して下さい。
- ⑦本体をペール缶から取り外して下さい。

【注意】

（粉体を吸入する場合）

必ずオプションのフィルターを取り付けて使用して下さい。フィルターを取り付けない場合は、吸引した粉体がエア排気口から噴出する場合があります。

※缶は、必ずSUS専用缶を使用して下さい。一般のペール缶では真空度が高く潰れます。

5. 故障の症状と処置

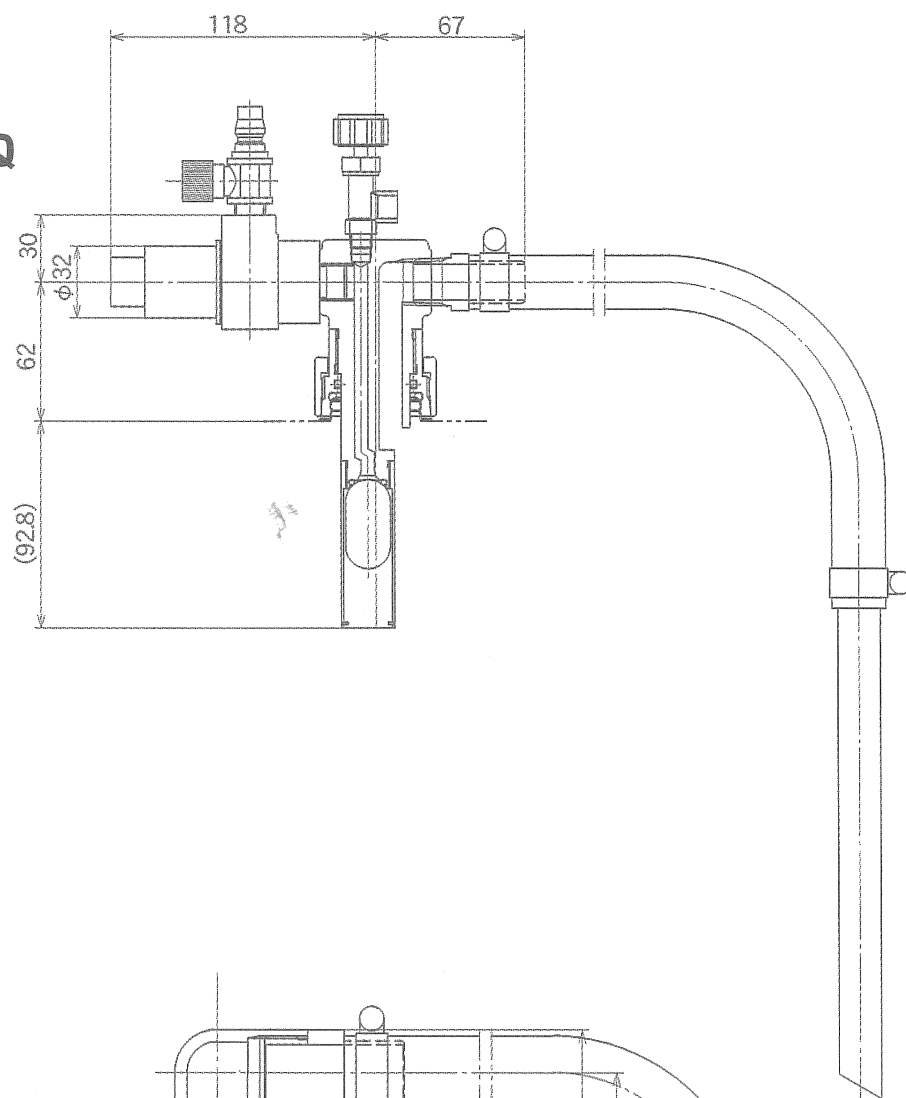
ポンプ使用中、異常が生じた時は、直ちにご使用を中止して下さい。
又、下記の様な症状の場合は、一度お調べ下さい。

●APPQ・APPQO・APPQO400・APPQO550・APPQO-H・AVC-55・AVC-550SUS

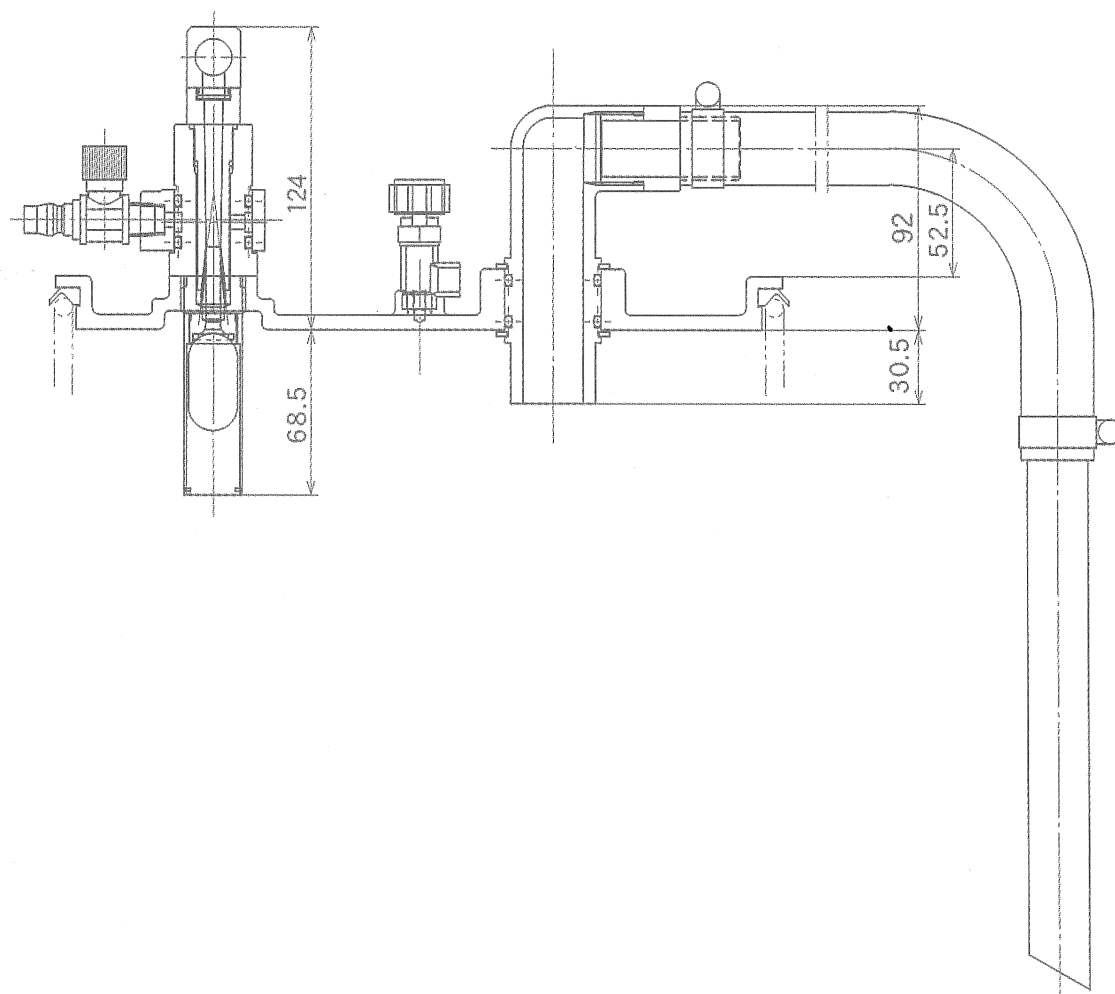
症 状	点 検 と 処 置 要 領
吸入しない	エアホースは、しっかりと接続されていますか？
	エアバルブは、開いていますか？
	ポンプがペール缶に密着していますか？（押し付けてみる）
	ペール缶の口金が変形していませんか？
吸入量が少ない	ポンプへのエア圧力は、低くないですか？
	エアバルブは、全開ですか？
	液体の粘度は、高くないですか？
	エア調製ネジは、エア圧力に対し正しいものが入っていますか？
缶が変形する	エア圧力が高すぎないですか？
	エア調製ネジは、エア圧力に対し正しいものが入っていますか？
	ペール缶の強度は、十分ですか？

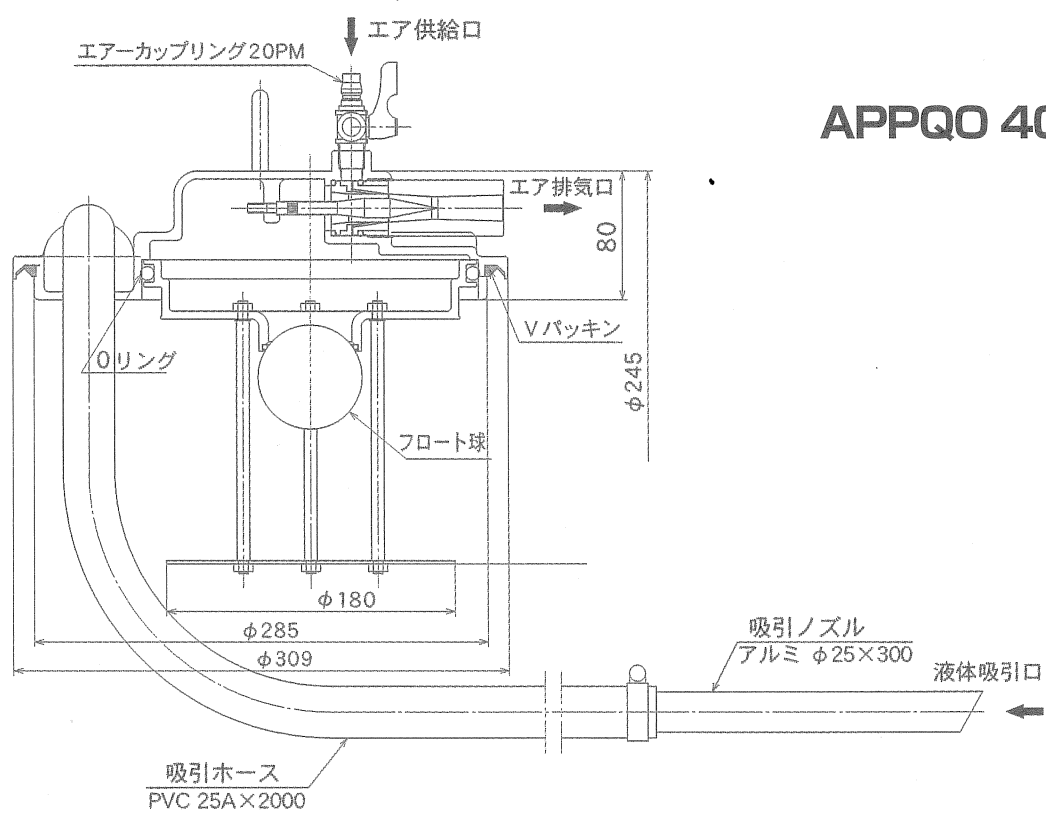
6. 外形図

APPQ

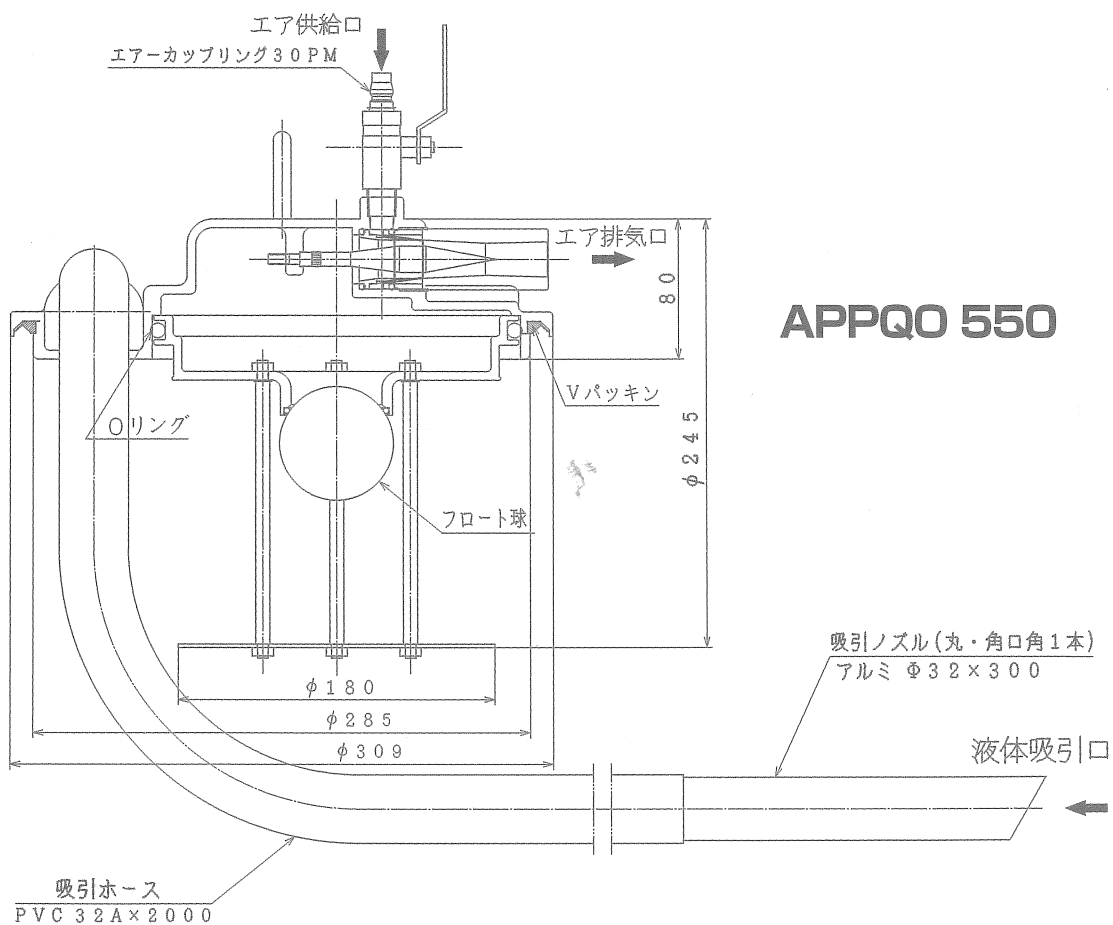


APPQO

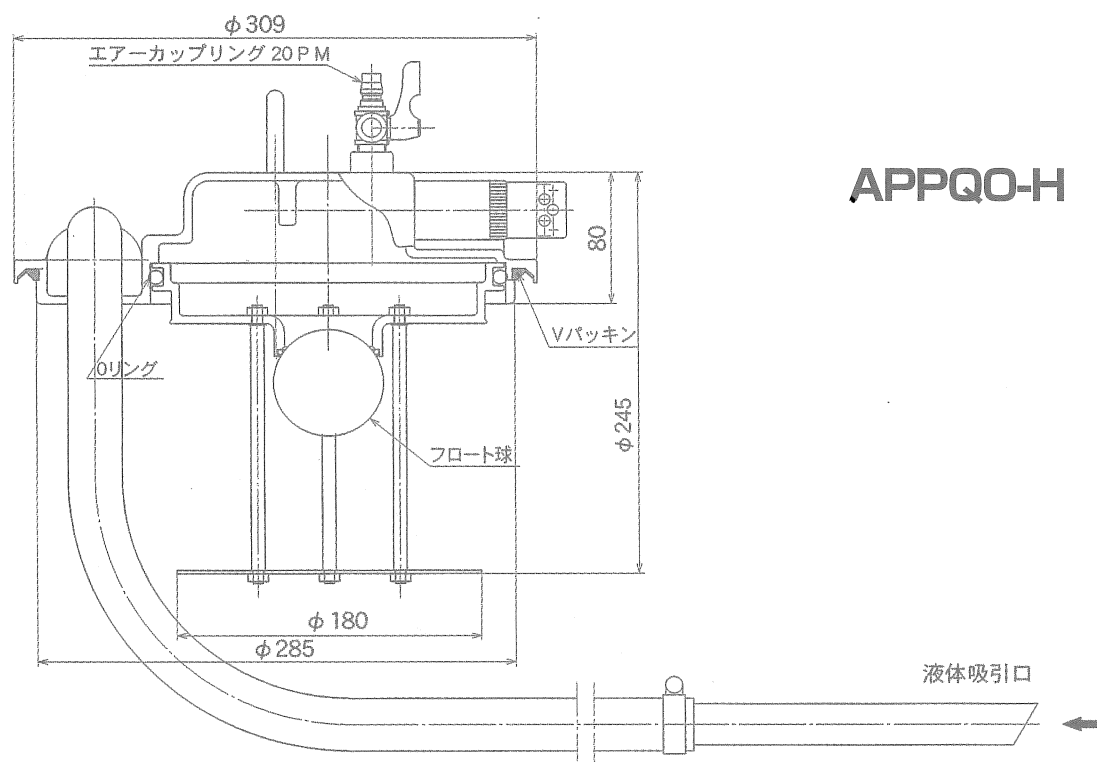




APPQO 400



APPQO 550



APPQO-H

AQUA アクアシステム株式会社
SYSTEM CO.,LTD.

Head Office

〒522-0081 滋賀県彦根市京町1-3-1K1ビル2F
Phone 0749-23-9123 Fax 0749-23-9122

Sugoshi Factory

〒522-0058 滋賀県彦根市須越町1190
Phone 0749-47-4051 Fax 0749-47-4055